

総合分析

試験区分	一般
------	----

制限時間	70分	大問数	全3問
------	-----	-----	-----

合格に要する能力（5段階）



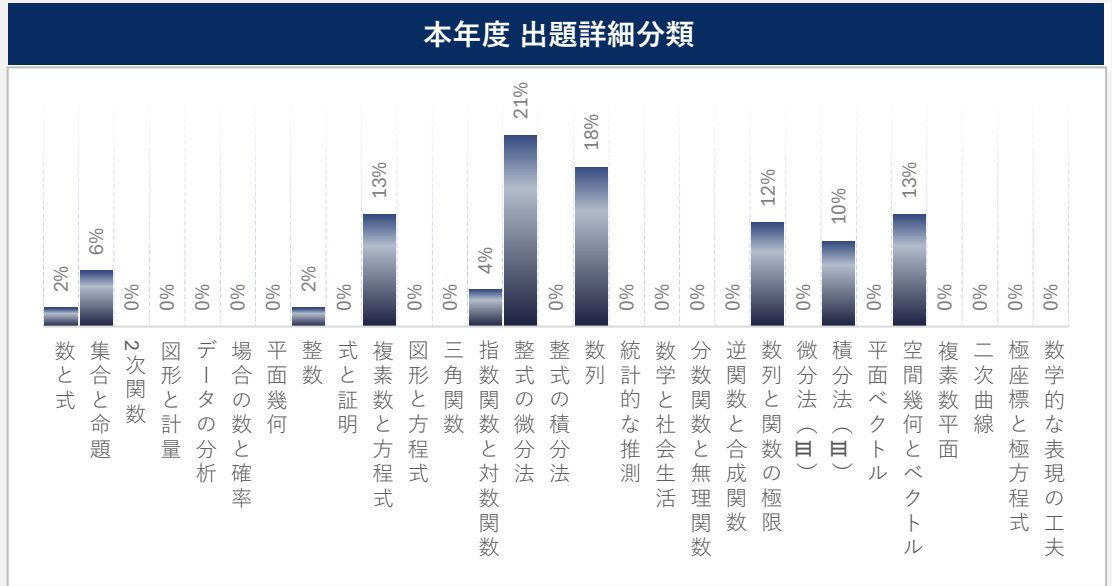
合格に要する能力（5段階）		
計算力	3.8	高度な計算をやり遂げる力
解析力	3.2	問題文を正しく読み取る力
知識力	3.6	解くことに必要な知識の量
初手力	3.2	初手の難しさ
見極力	4.5	解きやすい問題を選択する力

特記事項 特になし

出題分野	
数学Ⅰ	8%
数学A	2%
数学Ⅱ	38%
数学B	18%
数学Ⅲ	21%
数学C	13%

本年度 解答形式	
マーク	71%
論述	...

本年度出題テーマ一覧	
第1問	小問集合
第2問	3次関数の決定
第3問	積分漸化式と極限



特殊問題の有無	記述あり	証明あり
統計なし	数Ⅲあり	長文なし

総合評価			
難度	3.7	最難を5とする問題自体の難度	やや難しい
分量	80分	完答に要する時間（制限時間は70分）	やや多い
一次合格に必要な正答率（予想）			69%
高い正答率を要する			

入試の特徴と対策 強い特徴や偏りが無いバランスがとれた入試である。特別な対策は必要とせず標準的な高校数学の学習でよい。

入試から見る 大学が求める学生像 例年と比較すると制限時間に対する問題の分量が減っており、難問の類もなく大問3の極限も順天堂大学をはじめとする難関大を志望している学生にとっては既知の数値であろう。また大問2など、比較的短時間で満点を目指す問題も含まれており、選択能力と処理能力の高い学生を求めていると考えられる。